

大洗おしゃべり広場プロジェクト

地域交流

国際交流

代表者：人文学部 人文コミュニケーション学科 3年 河野聖史

連携先

大洗国際交流協会
(大洗町役場 まちづくり推進課)

生の町づくりを応援する。

顧問教員

金本節子(人文学部 教授)

●連携の方法

現在、大洗町役場・大洗国際交流協会では日本人と外国人住民が気軽に交流できる場を目指して大洗おしゃべり広場を二年間継続しており、5月の役場の総会で本年度も開催することが決定している。本年度は昨年度までの課題としてあがっていた参加者の増加を第一の目標として取り組み、周知、増員、継続という三つの目標に向かって活動する。私たちは7月から2月の毎月第一日曜日(8月、1月は除く)に開催されるおしゃべり広場を大洗役場と共催し、協会活動の周知に努め、活発な地域交流・国際交流の場の構築を目指す。また、モノづくりを共有し、大洗町のワンコインツアーに参加するなど、商店街の方々も巻き込んだ国際交流活動、多文化共生のコミュニケーションの実現に向けて、体験型異文化コミュニケーション活動を実践する。

参加者

伊藤真衣(人文学部人文コミュニケーション学科3年)

大江友麻(人文学部人文コミュニケーション学科3年)

岡地恵理(人文学部人文コミュニケーション学科3年)

椎名絢加(人文学部人文コミュニケーション学科3年)

中村夏美(人文学部人文コミュニケーション学科3年)

ヌルーマラー・デヴィ・フィトリア
(交換留学生)

ネランダ・アザニア・アコ
(交換留学生)

●実施計画

- ・外国人のための各種多言語サインボードの作成：外国人留学生の協力により外国人住民のために多言語のサインボードを作成する。
- ・日本文化の紹介：日常生活の中の日本文化や日本料理を紹介することで異文化間の相互理解を深める。和のものづくりや料理教室といった形で来場者参加型の活動を企画

プロジェクトの申請内容

●プロジェクト概要

このプロジェクトは、大洗国際交流協会と連携し、大洗町在住の外国人と日本人町民を中心とした地域交流を行う。異文化コミュニケーション能力を生かして、互いの文化を知り、受け入れることで外国人と日本人のコミュニケーションを円滑にし、大洗の多文化共

する。

- ・異文化かるた作成：異文化理解や大洗町紹介を題材に参加者全員でかるたを制作する。
- ・やさしい日本語の実践：外国人の方々とやさしい日本語でコミュニケーションをとり、ホワイトボードを利用して、問題点を指摘・改善し、漢字学習の期待にも応える。

●期待される成果

外国人住民が日本での日常生活に必要な知識や日本語能力をやさしい日本語による学習実践を通して獲得することができる。日常レベルでの文化紹介や来場者参加型の企画を多く行うことで地域住民の参加意欲が高まり、本年度の目標である参加者の増加が期待できる。さらに日本人と外国人が協働活動（かるた作り、料理作りなど）を通して、新たな発見や相互理解を深め、多文化共生の意識と多文化コミュニケーション能力を高めることができる。

プロジェクトの実施概要

●実施内容

- ・各国の文化紹介（日本、インドネシア、イギリス、タイ）

約30分程、各国の文化を紹介してもらう時間を設け、茨城大学の留学生や大洗町に住むALTの先生、筑波大学の留学生がそれぞれの国の文化や言語、習慣などについて紹介して頂いた。私達も外国籍住民の方々に日本文化を理解してもらえるように日本文化について紹介した。聞く側である地域住民は、初めて知る文化に驚きながら、質問をしたり、実際に体験したりしながら異文化理解に努めていた。

- ・料理教室（ペルー）

ペルー人の講師を招き、参加者を班に分けて、班ごとにペルー料理を作った。日本では見たことのない作り方や料理、味に多くの参加者が驚いていた。実際に外国籍住民と日本人住民とが料理を共に作ることで、相談したり教え合ったりしながら交流することができた。力を合わせて作ったペルー料理は、ピリ辛で非常に美味しかった。

- ・ワンコインツアーへの参加

大洗観光協会が主催する「ワンコインツアー」というイベントに、大洗おしゃべり広場として地域住民の方々と茨城大学の留学生と共に参加した。「ワンコインツアー」とは、500円で大洗町のグルメを楽しむツアーのことである。書写体験やカルメ焼き体験など留学生や外国籍住民の方には初めての体験が多く、難しいと言いながらも楽しく日本文化を体験していた。他にも大洗町の特産品などを食べ歩き、お腹も心も大満足だった。普段おしゃべり広場に参加して下さる地域住民の方以外に、商店街の方も巻き込んだ異文化交流活動ができた。

- ・ポットラックパーティー

1人1品料理やお菓子を持ち寄り、ポットラックパーティーを開催した。地域住民の方を中心に国際色豊かな様々な料理やお菓子が集まった。パーティーでは、料理やお菓子を食べながら自由に交流を楽しんだ。作り方を教わる人、一生懸命食べる人、珍しい料理の数々を写真に収める人、お互いの料理を食べながら感想を言い合う人など参加者それぞれが思い思いに楽しんでいた。外国につながりのある子供達も大勢参加し、学生達に母国語を教えて交流しており、非常ににぎやかなパ

ーティーだった。



「ポットラックパーティーの様子」

・七夕パーティー

参加者全員で七夕を楽しもうと思い、七夕パーティーを開催した。各国の七夕文化を比較し、学生で作った七夕料理（きゅうりやハム、星型のチーズなどを飾ったそうめん）をふるまった。全員で短冊に願い事を書き、飾りを作って、綺麗な笹飾りを作った。短冊には様々な言語で願いが書かれてあり、国際色豊かな笹飾りが完成した。外国籍住民の方々に日本文化を体験してもらう良い機会となった。

・イベントへのブース出展（八朔祭、盆踊りの夕べ）

おしゃべり広場の周知活動の一環として、

大洗で開催されたイベントに参加した。おしゃべり広場の宣伝をしつつ、イベントを楽しみ大洗について理解を深めることができた。

・異文化かるた

日本の遊びであるかるたを通して、外国人住民に、楽しみながら日本語・日本文化を学んでもらおうと、学生が企画し、制作した。12月のおしゃべり広場で【日本文化かるた】遊びを実施したところ、大好評だったため、2月の活動に向けて、さらに【大洗オリジナルかるた】を作成することが決定した。役場の協力を得て、町民にも読み札・絵札の募集を募るに至った（役場に応募箱の設置、町内回覧板、町内中学校への広報）。50の応募のなかから選定した30のかるたを2月の活動において実際に使用した。選んだかるたの製作者を、おしゃべり広場に招待したので、参加者がさらに増えるきっかけにもなった。国籍年齢男女問わず楽しめる企画になった。大洗おしゃべり広場のみならず、他の国際交流の場や日本語教育においてこの異文化かるたは活用できると考える。2013年度大洗おしゃべり広場の活動は幕を閉じたが、現在も金本ゼミの学生が、かるたの改訂と新バージョンの作成に当たっている。

例：

1グループ5，6人で行い、各グループに学生がひとりつき読み札を読む。

誰かが絵札を獲得したら、学生はもう一度読み札を読み、その日本文化についてわかりやすく説明する。説明が終わったら、次の読み札を読み始める。

